



自治体総合フェア 2018「第 10 回協働まちづくり表彰」  
「全額市民出資による市民共同発電所」が準グランプリを受賞  
協働団体(一社)市民エネルギー生駒と共に市長へ受賞報告

一般社団法人日本経営協会が主催する「第 10 回協働まちづくり表彰」において、生駒市での取組み「全額市民出資による市民共同発電所事業」が準グランプリを受賞しました。5 月 17 日に東京ビッグサイトで表彰式が開催されるのに合わせ、5 月 18 日に市環境モデル都市推進課と協働団体である一般社団法人市民エネルギー生駒が生駒市長に受賞を報告します。

#### ■ 受賞報告

- ◇ 日 時 5 月 18 日 (金) 15 : 30 ~ 16 : 00
- ◇ 場 所 生駒市役所 4 階 市長室
- ◇ 報告者 一般社団法人市民エネルギー生駒 理事長 楠正志 (くすのき ただし) さんほか  
生駒市 地域活力創生部 環境モデル都市推進課

#### ■ 受賞プロジェクト「全額市民出資による市民共同発電所」

市民主体の再生可能エネルギーの普及を目的として「一般社団法人市民エネルギー生駒」を設立。市の公共施設や土地を有効活用し、市民共同太陽光発電所を 4 機、その整備費用 (4 機合計 7,700 万円) を補助金や金融機関等に頼ることなく全額市民出資によって建設しました。

セカンドキャリアを迎える市民メンバーは、これまで企業等の第一線で培った業務経験を生かし、地域に貢献するために精力的に活動しています。また、その事業収益は、小学生向けのソーラーカー工作教室の開催費用や、市内の介護老人保健施設の太陽光発電設備、こども園の園舎看板の寄附に充てるなど、市民に見える形で収益の地域還元を実現しています。

<プロジェクトの特徴>

- ① 市の公共施設や土地を有効活用
- ② 補助金に頼らず全額市民出資により建設
- ③ セカンドキャリア人材の活用
- ④ 売電利益による地域還元の実践

#### ■ 自治体総合フェア 2018「第 10 回協働まちづくり表彰」

公と民が協働・連携して推進したプロジェクト・活動・制度・仕組みづくりなどの取り組みを審査し、自治体総合フェアの開催目的である『自治体経営の革新を推進するとともに、地域住民が真に豊かさを実感できる、魅力ある地域社会の実現を図ること』という観点で、大きく貢献したと評価できる事例が表彰されます。(自治体総合フェア 2018 のホームページから引用)

今回は、全国から 41 件の応募があり、グランプリ 1 件、準グランプリ 1 件、優秀賞 2 件が表彰されます。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市環境モデル都市推進課 (課長 川島) ☎0743-74-1111 (内線 371)